

# 文化芸術への意識に関するアンケート調査 報告書

## 【概要版】

令和6年11月11日  
千葉県環境生活部  
スポーツ・文化局 文化振興課  
電話 043-223-2408  
FAX 043-224-2851

### 1 調査の目的

文化芸術に関する県民の関心、要望、意向などをとらえ、次期計画策定のための基礎資料とすることを目的とする。

### 2 調査の項目

- (1) 鑑賞について
- (2) 自分自身の参加・出演について
- (3) 各地域における伝統芸能について
- (4) 障害がある方の文化芸術活動について
- (5) 文化施設について
- (6) 県が実施する事業等について

### 3 調査の設計

- (1) 調査対象 千葉県在住の満18歳以上の男女個人
- (2) 標本数 3,000人
- (3) 抽出方法 層化二段無作為抽出法  
※層化二段無作為抽出法とは、行政単位と地域によって県内をブロックに分類し(層化)、各層に調査地点を人口に応じて比例配分し、国勢調査における調査区域及び住民基本台帳を利用して(二段)、各地点ごとに一定数のサンプル抽出を行うものである。
- (4) 調査方法 郵送法、オンライン調査法の併用  
(調査票を郵送送付し、回答を郵送・オンラインで回収する)
- (5) 調査時期 令和6年6月18日～7月12日

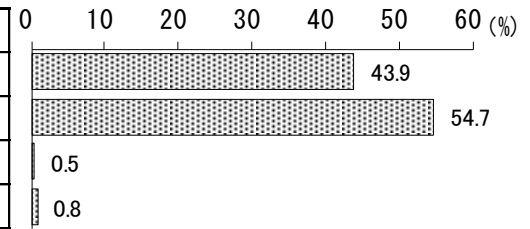
### 4 回収結果

有効回収数(率) 1,206人(40.2%)

## 5 回答者の属性

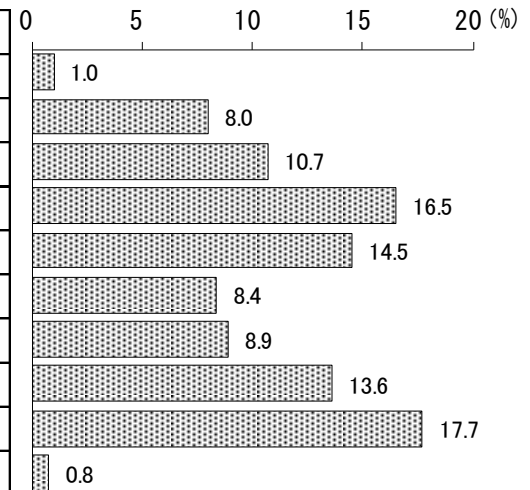
### (1) 性

	基数	構成比
1 男性	530	43.9
2 女性	660	54.7
3 その他	6	0.5
(無回答)	10	0.8
全 体	1,206	100.0



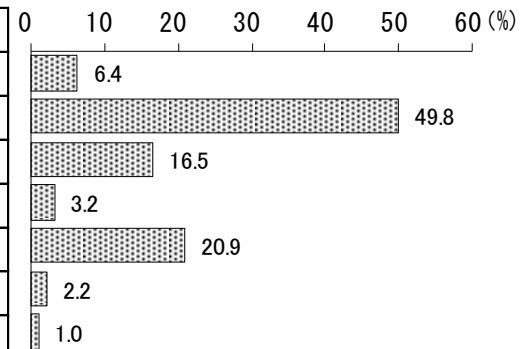
### (2) 年 代

	基数	構成比
1 18～19歳	12	1.0
2 20代	96	8.0
3 30代	129	10.7
4 40代	199	16.5
5 50代	175	14.5
6 60～64歳	101	8.4
7 65～69歳	107	8.9
8 70～74歳	164	13.6
9 75歳以上	213	17.7
(無回答)	10	0.8
全 体	1,206	100.0



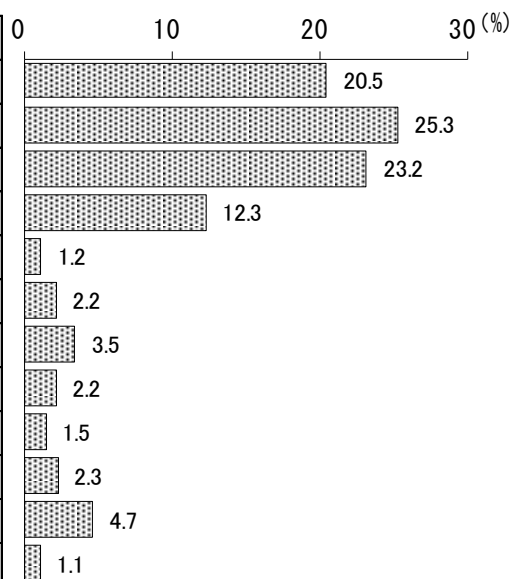
### (3) 職 業

	基数	構成比
1 自営業者	77	6.4
2 勤め人	601	49.8
3 主婦・主夫	199	16.5
4 学生	39	3.2
5 無職	252	20.9
6 その他	26	2.2
(無回答)	12	1.0
全 体	1,206	100.0



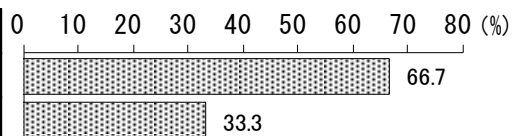
(3) 地 域

	基数	構成比
1 千葉地域	247	20.5
2 葛南地域	305	25.3
3 東葛飾地域	280	23.2
4 印旛地域	148	12.3
5 香取地域	15	1.2
6 海匝地域	27	2.2
7 山武地域	42	3.5
8 長生地域	26	2.2
9 夷隅地域	18	1.5
10 安房地域	28	2.3
11 君津地域	57	4.7
(無回答)	13	1.1
全 体	1,206	100.0



(4) 回答方法

	基数	構成比
1 郵便回答	804	66.7
2 ネット回答	402	33.3
全 体	1,206	100.0



## 6 調査の結果

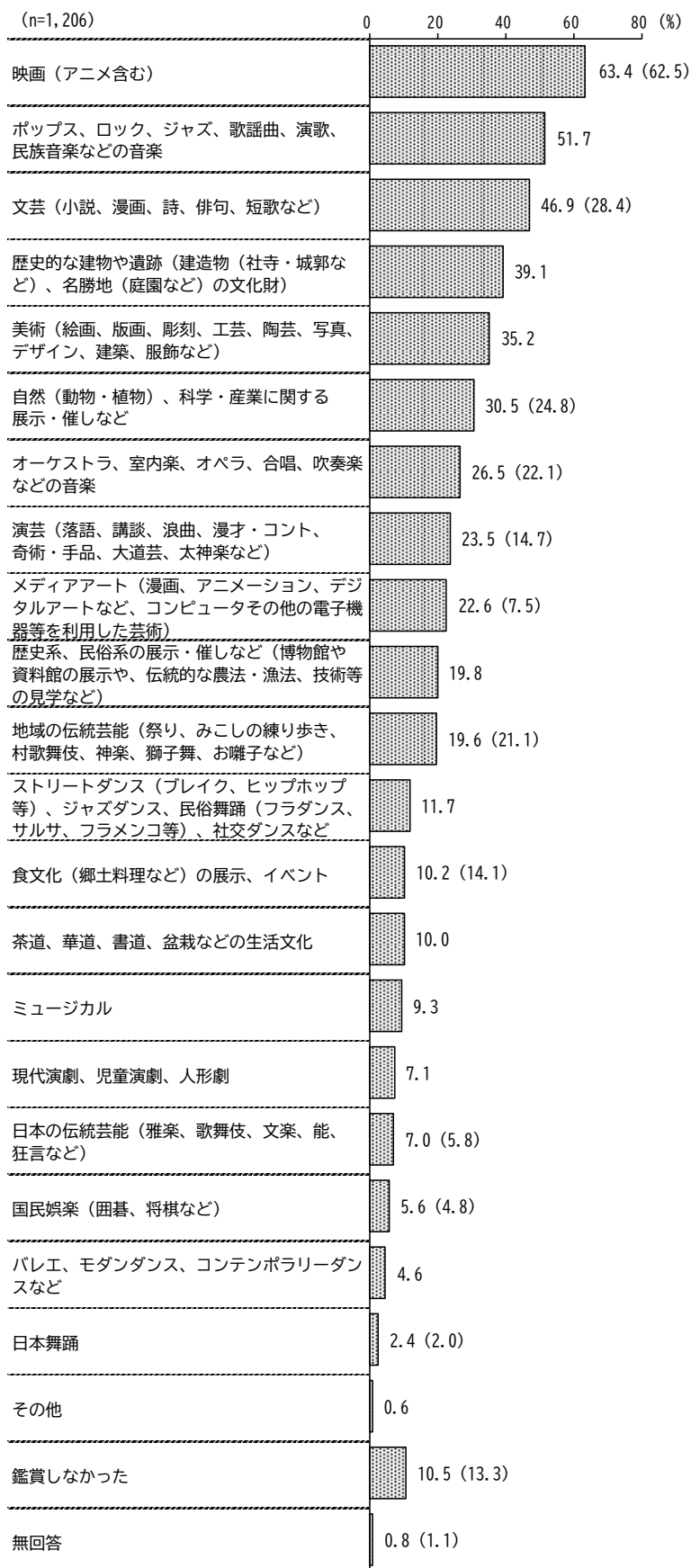
### (1) 鑑賞について

#### ① 昨年度に鑑賞した文化芸術

(複数回答：いくつでも)

昨年度に鑑賞した文化芸術について聞いたところ、「映画(アニメ含む)」(63.4%)が6割を超えて最も高く、以下「ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽などの音楽」(51.7%)、「文芸(小説、漫画、詩、俳句、短歌など)」(46.9%)、「歴史的な建物や遺跡(建造物(社寺・城郭など)、名勝地(庭園など)の文化財)」(39.1%)が続く。

一方で、「鑑賞しなかった」(10.5%)が1割となっている。

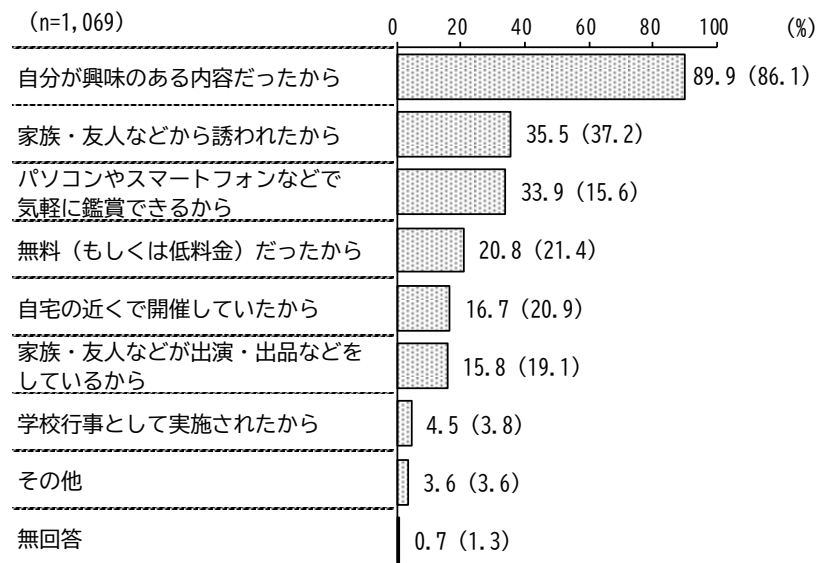


注) ( ) の数字は令和元年度の同様の項目による調査結果 n=1,052

## ② 文化芸術を鑑賞した理由

(複数回答：いくつでも)

「昨年度、文化芸術を鑑賞した」と回答した1,069人を対象に、鑑賞した理由を聞いたところ、「自分が興味のある内容だったから」(89.9%)が約9割で最も高く、以下「家族・友人などから誘われたから」(35.5%)、「パソコンやスマートフォンなどで気軽に鑑賞できるから」(33.9%)、「無料(もしくは低料金)だったから」(20.8%)が続く。



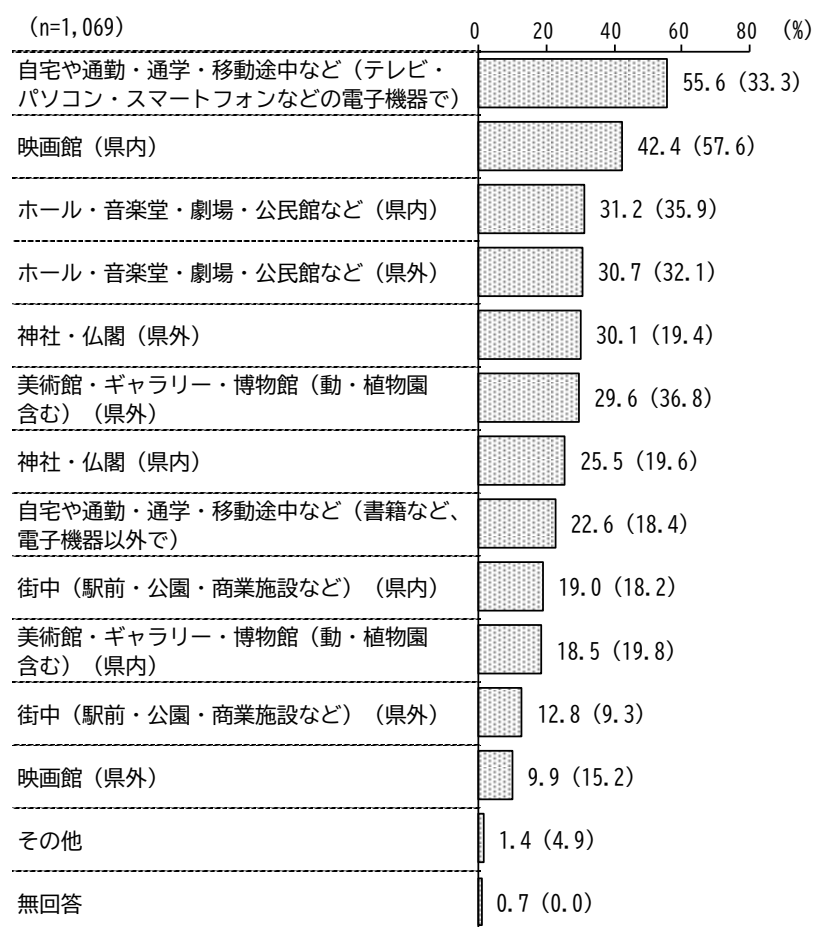
注) ( ) の数字は令和元年度の同様の項目による調査結果 n=900

## ③ 文化芸術を鑑賞した場所

(複数回答：いくつでも)

「昨年度、文化芸術を鑑賞した」と回答した1,069人を対象に、鑑賞した場所を聞いたところ、「自宅や通勤・通学・移動途中など(テレビ・パソコン・スマートフォンなどの電子機器で)」(55.6%)が5割台半ばで最も高く、以下「映画館(県内)」(42.4%)、「ホール・音楽堂・劇場・公民館など(県内)」(31.2%)、「ホール・音楽堂・劇場・公民館など(県外)」(30.7%)が続く。

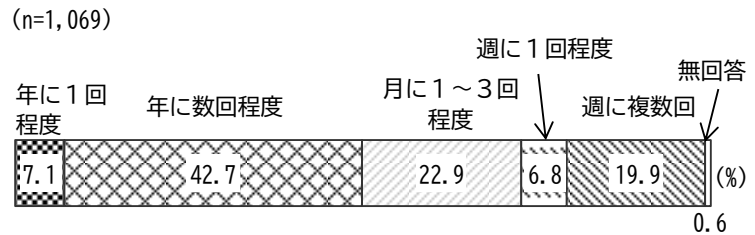
また、「映画館」は『県内』が『県外』に比べ約33ポイント高く、「美術館・ギャラリー・博物館(動・植物園含む)」は『県内』が『県外』に比べ約11ポイント低い。



注) ( ) の数字は令和元年度の同様の項目による調査結果 n=900

#### ④ 昨年度の鑑賞頻度

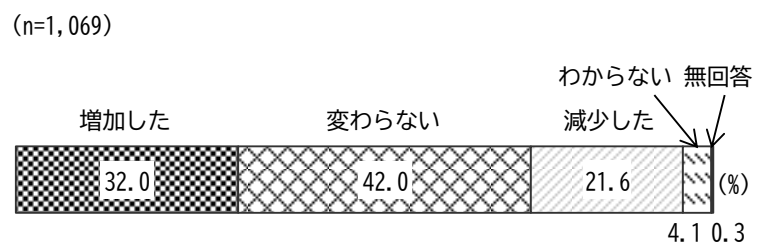
「昨年度、文化芸術を鑑賞した」と回答した1,069人を対象に、鑑賞頻度を聞いたところ、「年に数回程度」(42.7%)が4割を超えて最も高く、以下「月に1～3回程度」(22.9%)、「週に複数回」(19.9%)、「年に1回程度」(7.1%)、「週に1回程度」(6.8%)となっている。



#### ⑤ コロナ禍前と比べた鑑賞頻度の増減

「昨年度、文化芸術を鑑賞した」と回答した1,069人を対象に、コロナ禍前と比べた鑑賞頻度の増減を聞いたところ、「増加した」(32.0%)が3割を超え、「減少した」(21.6%)を上回っている。

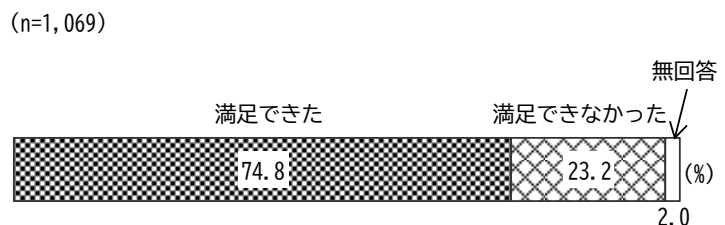
また、「変わらない」(42.0%)が4割を超えている。



#### ⑥ 鑑賞した回数や内容の満足度

「昨年度、文化芸術を鑑賞した」と回答した1,069人を対象に、鑑賞した回数や内容に満足できたかを聞いたところ、「満足できた」(74.8%)が7割台半ばとなっている。

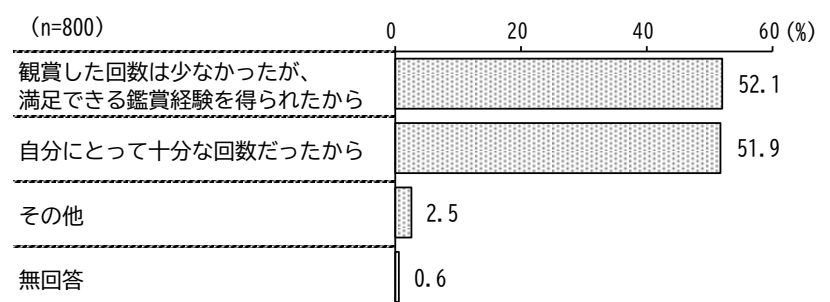
一方で「満足できなかった」(23.2%)が2割を超えている。



#### ⑦ 「満足できた」理由

(複数回答：いくつでも)

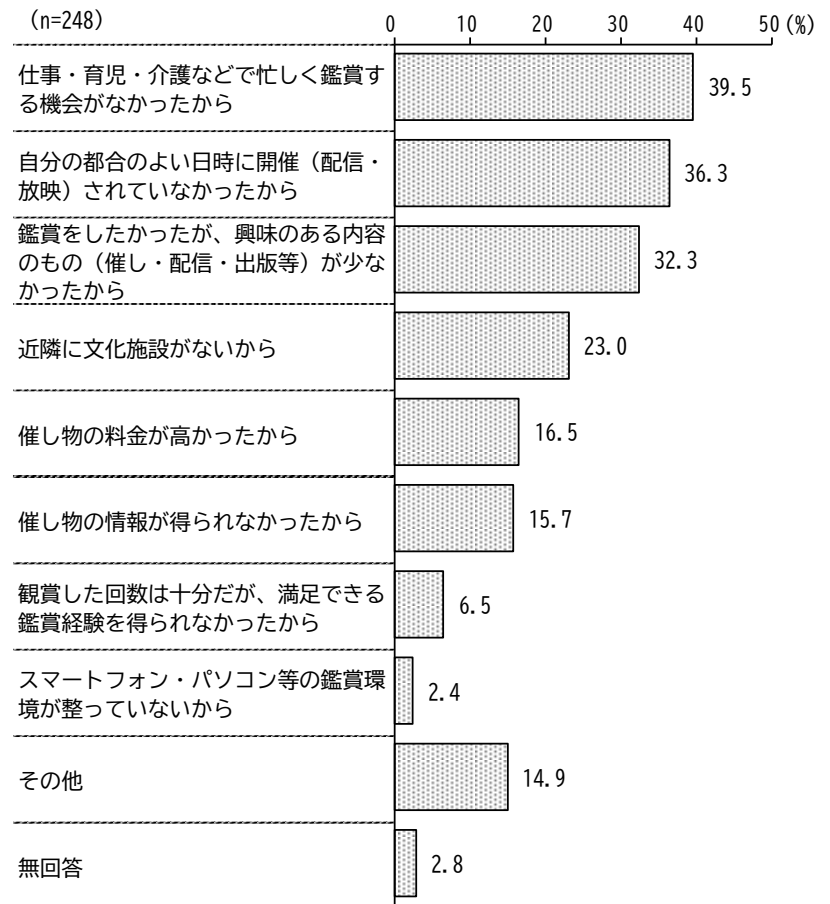
「満足できた」と回答した800人を対象に、その理由を聞いたところ、「観賞した回数は少なかったが、満足できる鑑賞経験を得られたから」(52.1%)、「自分にとって十分な回数だったから」(51.9%)がともに5割を超えている。



## ⑧ 「満足できなかった」理由

(複数回答：いくつでも)

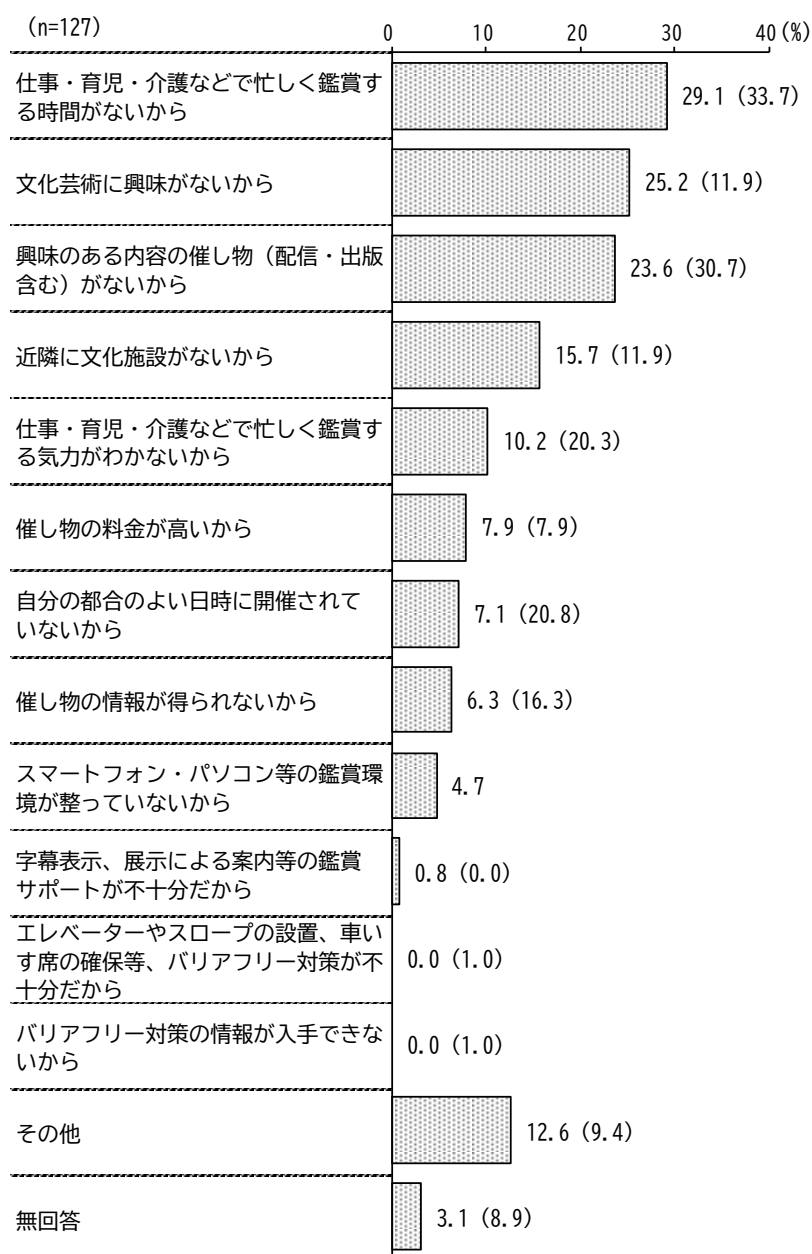
「満足できなかった」と回答した248人を対象に、満足できなかった理由を聞いたところ、「仕事・育児・介護などで忙しく鑑賞する機会がなかったから」(39.5%)が約4割で最も高く、以下「自分の都合のよい日時に開催(配信・放映)されていないから」(36.3%)、「鑑賞をしたかったが、興味のある内容のもの(催し・配信・出版等)が少なかったから」(32.3%)、「近隣に文化施設がないから」(23.0%)が続く。



## ⑨ 文化芸術を鑑賞しなかった理由

(複数回答：いくつでも)

「昨年度に文化芸術を鑑賞しなかった方」127人を対象に、その理由を聞いたところ、「仕事・育児・介護などで忙しく鑑賞する時間がないから」(29.1%)が約3割で最も高く、以下「文化芸術に興味がないから」(25.2%)、「興味のある内容の催し物(配信・出版含む)がないから」(23.6%)、「近隣に文化施設がないから」(15.7%)が続く。



注) ( ) の数字は令和元年度の同様の項目による調査結果 n=202



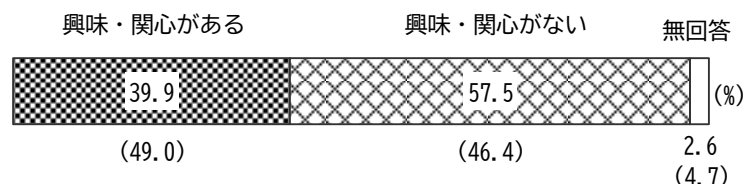
## (2) 自分自身の参加・出演について

### ① 文化芸術活動を行うことへの興味・関心

文化芸術活動を自分で行う（活動すること）への興味・関心を聞いたところ、「興味・関心がある」（39.9%）が約4割となっている。

一方で「興味・関心がない」（57.5%）は約6割となっている。

(n=1,206)



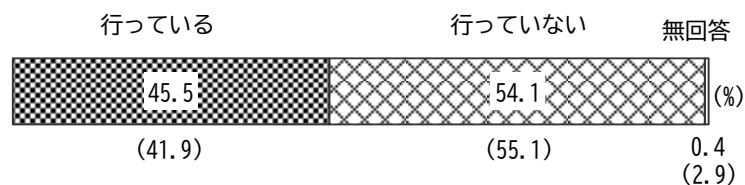
注) ( ) の数字は令和元年度の同様の項目による調査結果 n = 1,052

### ② 文化芸術活動の実施の有無

文化芸術活動を行うことに「興味・関心がある」と回答した481人を対象に、文化芸術活動を行っているかを聞いたところ、「行っている」（45.5%）が4割台半ばとなっている。

一方で、「行っていない」（54.1%）は5割台半ばとなっている。

(n=481)

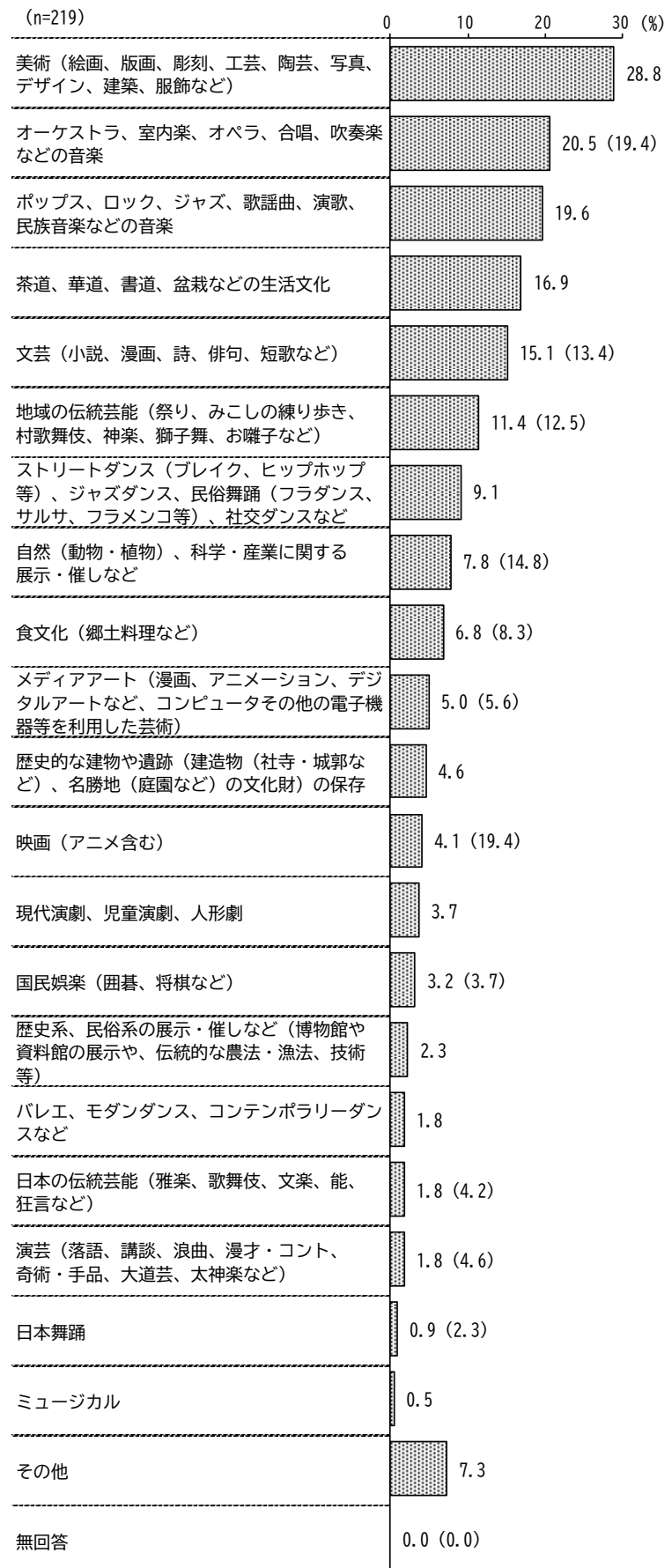


注) ( ) の数字は令和元年度の同様の項目による調査結果 n = 515

### ③ 実施しているジャンル

(複数回答：いくつでも)

「文化芸術活動を行っている」と回答した219人を対象に、行っているジャンルを聞いたところ、「美術(絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、写真、デザイン、建築、服飾など)」(28.8%)が約3割で最も高く、以下「オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽などの音楽」(20.5%)、「ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽などの音楽」(19.6%)、「茶道、華道、書道、盆栽などの生活文化」(16.9%)が続く。

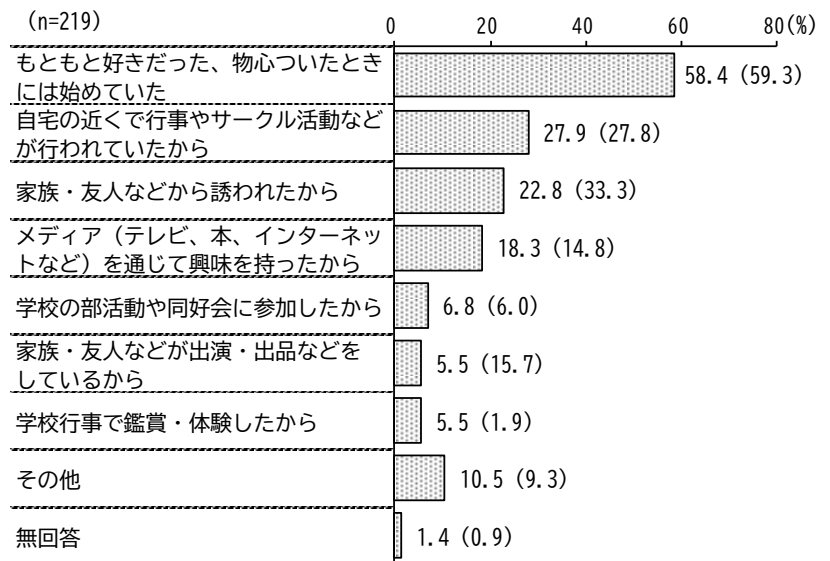


注) ( ) の数字は令和元年度の同様の項目による調査結果 n = 216

#### ④ 文化芸術活動を始めた理由

(複数回答：いくつでも)

「文化芸術活動を行っている」と回答した219人を対象に、文化芸術活動を始めた理由を聞いたところ、「もともと好きだった、物心ついたときには始めていた」(58.4%)が約6割で最も高く、以下「自宅の近くで行事やサークル活動などが行われていたから」(27.9%)、「家族・友人などから誘われたから」(22.8%)、「メディア(テレビ、本、インターネットなど)を通じて興味を持ったから」(18.3%)が続く。

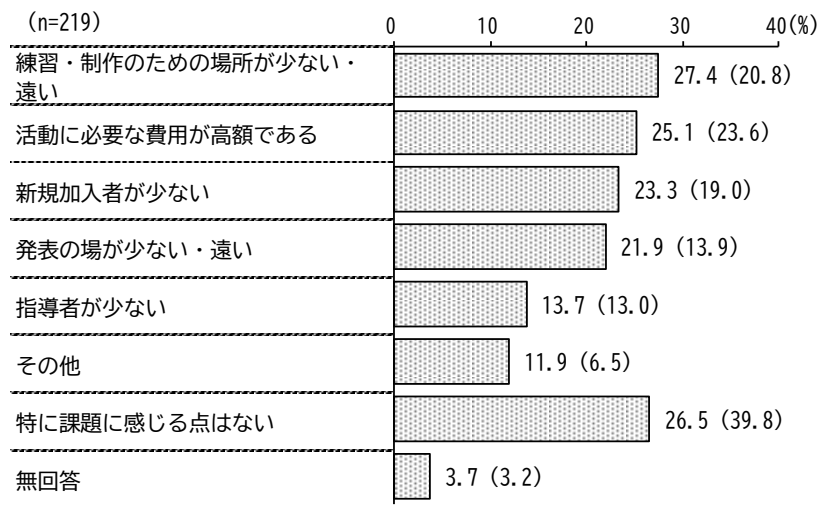


注) ( ) の数字は令和元年度の同様の項目による調査結果 n=216

#### ⑤ 文化芸術活動を行う際に課題と感ずる点

(複数回答：いくつでも)

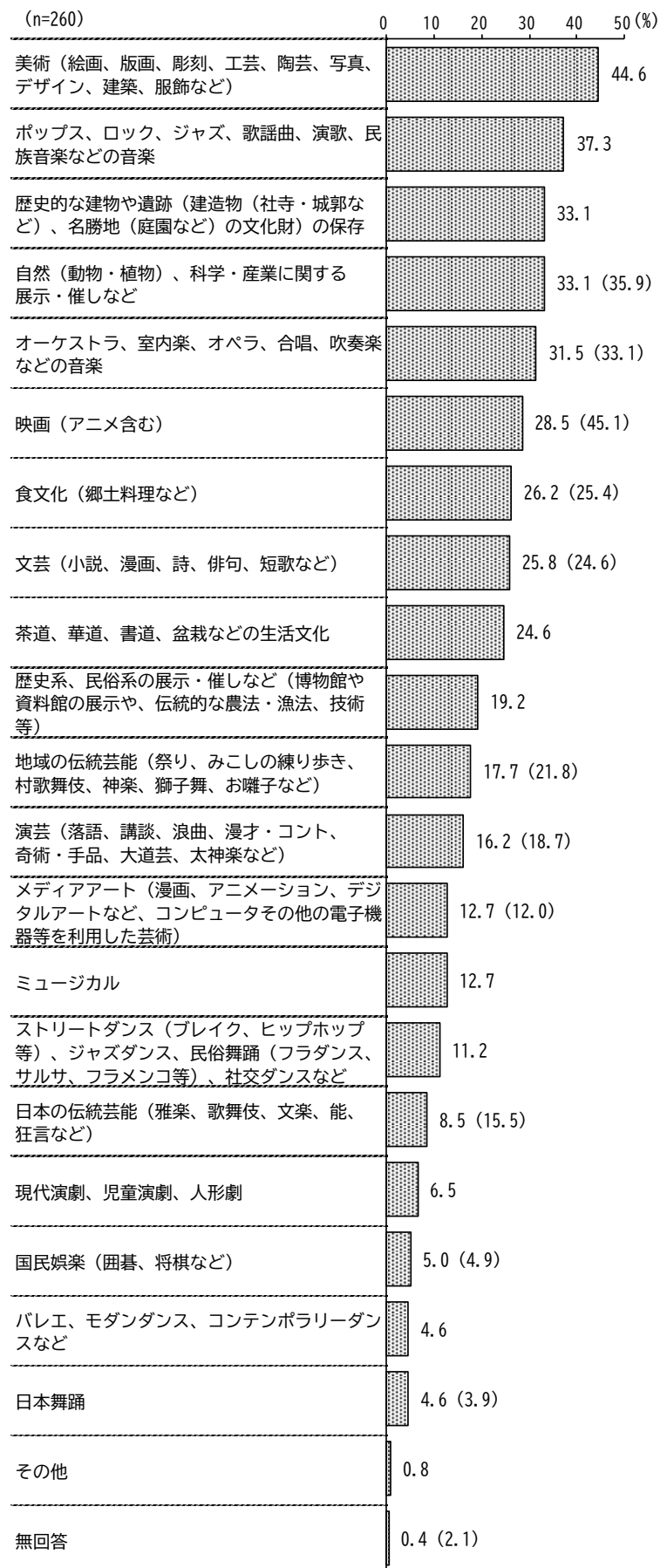
「文化芸術活動を行っている」と回答した219人を対象に、文化芸術活動を行う際に課題と感ずる点を聞いたところ、「練習・制作のための場所が少ない・遠い」(27.4%)が約3割で最も高く、以下「活動に必要な費用が高額である」(25.1%)、「新規加入者が少ない」(23.3%)、「発表の場が少ない・遠い」(21.9%)が続く。



注) ( ) の数字は令和元年度の項目による調査結果 n=216  
令和元年度調査は「不満や不便な点」の回答結果

⑥ 文化芸術活動を実施していない方の興味・関心があるジャンル（複数回答:いくつでも）

「文化芸術活動に興味・関心があるが実施していない」と回答した260人を対象に、興味・関心があるジャンルを聞いたところ、「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、写真、デザイン、建築、服飾など）」（44.6%）が4割台半ばで最も高く、以下「ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽などの音楽」（37.3%）、「歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、名勝地（庭園など）の文化財）の保存」（33.1%）、「自然（動物・植物）、科学・産業に関する展示・催しなど」（33.1%）、「オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽などの音楽」（31.5%）、「映画（アニメ含む）」（28.5%）、「食文化（郷土料理など）」（26.2%）、「文芸（小説、漫画、詩、俳句、短歌など）」（25.8%）、「茶道、華道、書道、盆栽などの生活文化」（24.6%）、「歴史系、民俗系の展示・催しなど（博物館や資料館の展示や、伝統的な農法・漁法、技術等）」（19.2%）、「地域の伝統芸能（祭り、みこしの練り歩き、村歌舞伎、神楽、獅子舞、お囃子など）」（17.7%）、「演芸（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽など）」（16.2%）、「メディアアート（漫画、アニメーション、デジタルアートなど、コンピュータその他の電子機器等を利用した芸術）」（12.7%）、「ミュージカル」（12.7%）、「ストリートダンス（ブレイク、ヒップホップ等）、ジャズダンス、民俗舞踊（フラダンス、サルサ、フラメンコ等）、社交ダンスなど」（11.2%）、「日本の伝統芸能（雅楽、歌舞伎、文楽、能、狂言など）」（8.5%）、「現代演劇、児童演劇、人形劇」（6.5%）、「国民娯楽（囲碁、将棋など）」（5.0%）、「バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど」（4.6%）、「日本舞踊」（4.6%）、「その他」（0.8%）、「無回答」（0.4%）が続く。

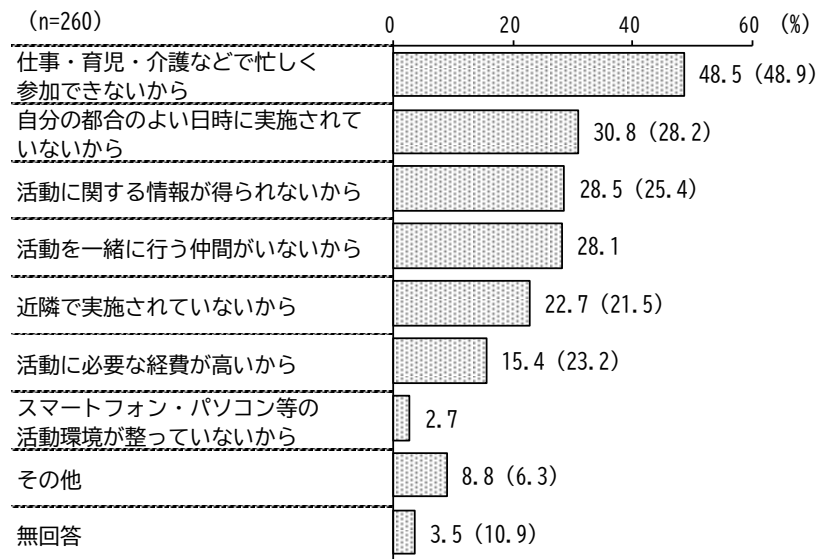


注) ( ) の数字は令和元年度の同様の項目による調査結果 n = 284

## ⑦ 文化芸術活動を行っていない理由

(複数回答：3つまで)

「文化芸術活動に興味・関心があるが行っていない」と回答した260人を対象に、行っていない理由を聞いたところ、「仕事・育児・介護などで忙しく参加できないから」(48.5%)が約5割で最も高く、以下「自分の都合のよい日時に実施されていないから」(30.8%)、「活動に関する情報が得られないから」(28.5%)、「活動と一緒にいる仲間がないから」(28.1%)、「近隣で実施されていないから」(22.7%)、「活動に必要な経費が高いから」(15.4%)、「スマートフォン・パソコン等の活動環境が整っていないから」(2.7%)、「その他」(8.8%)、「無回答」(3.5%)が続く。



注) ( ) の数字は令和元年度の同様の項目による調査結果 n = 284

## (3) 各地域における伝統芸能について

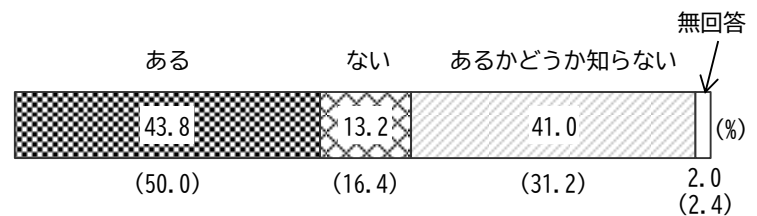
### ① 居住地域において継承されている伝統芸能の有無

お住まいの地域で継承されている伝統芸能があるかを聞いたところ、「ある」(43.8%)が4割台半ばとなっている。

一方で「ない」(13.2%)が1割を超えている。

また、「あるかどうか知らない」(41.0%)が4割を超えている。

(n=1,206)



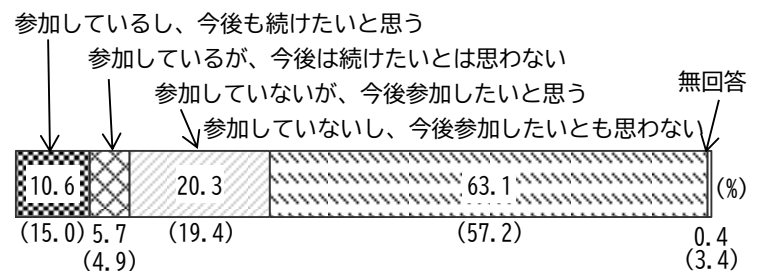
注) ( ) の数字は令和元年度の同様の項目による調査結果 n = 1,052

### ② 居住地域における伝統芸能への参加有無及び今後の意向

「お住まいの地域で継承されている伝統芸能がある」と回答した528人を対象に、担い手として参加の有無と今後の意向を聞いたところ、「参加しているし、今後も続けたいと思う」(10.6%)は1割となっている。

一方で、「参加していないし、今後参加したいとも思わない」(63.1%)が6割を超えて最も高くなっている。

(n=528)

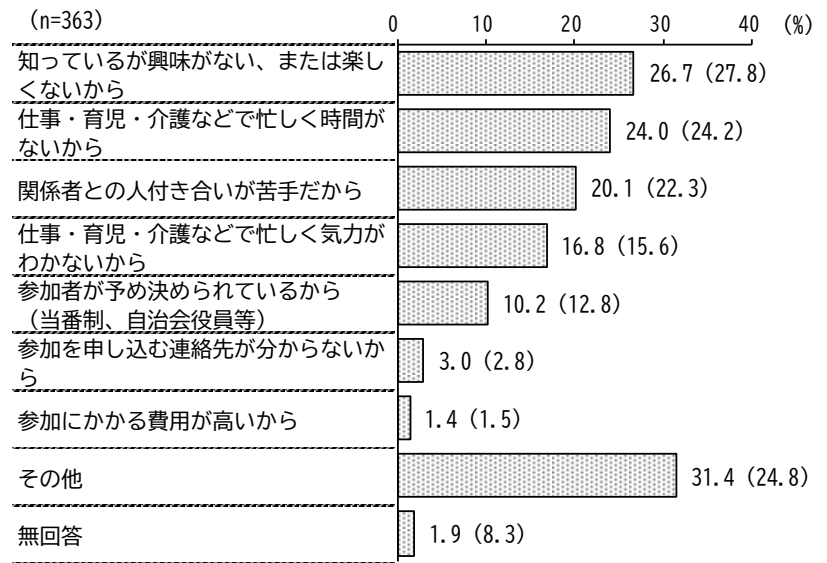


注) ( ) の数字は令和元年度の同様の項目による調査結果 n = 526

### ③ 居住地域における伝統芸能に今後参加したくない理由

(複数回答：3つまで)

お住まいの地域で継承されている伝統芸能がある方で、担い手として「参加しているが今後は続けない」と思わない」または「参加していないし、今後参加したいとも思わない」と回答した363人を対象に、その理由を聞いたところ、「知っているが興味がない、または楽しくないから」(26.7%)が2割台半ばで最も高く、以下「仕事・育児・介護などで忙しく時間がないから」(24.0%)、「関係者との人付き合いが苦手だから」(20.1%)、「仕事・育児・介護などで忙しく気力がわからないから」(16.8%)が続く。

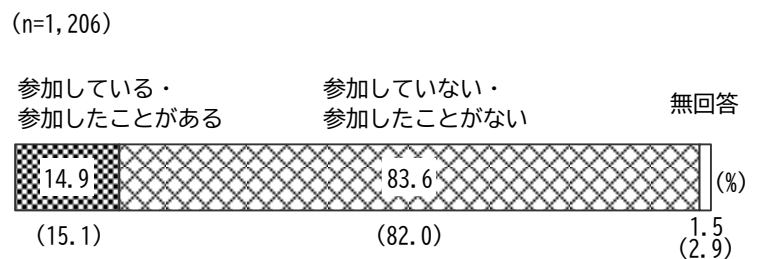


注) ( ) の数字は令和元年度の同様の項目による調査結果 n = 327

### ④ 居住地域以外での伝統芸能への参加有無

お住まいの地域以外で伝統芸能に担い手として参加経験があるかを聞いたところ、「参加している・参加したことがある」(14.9%)が1割台半ばとなっている。

一方で「参加していない・参加したことがない」(83.6%)は8割台半ばとなっている。

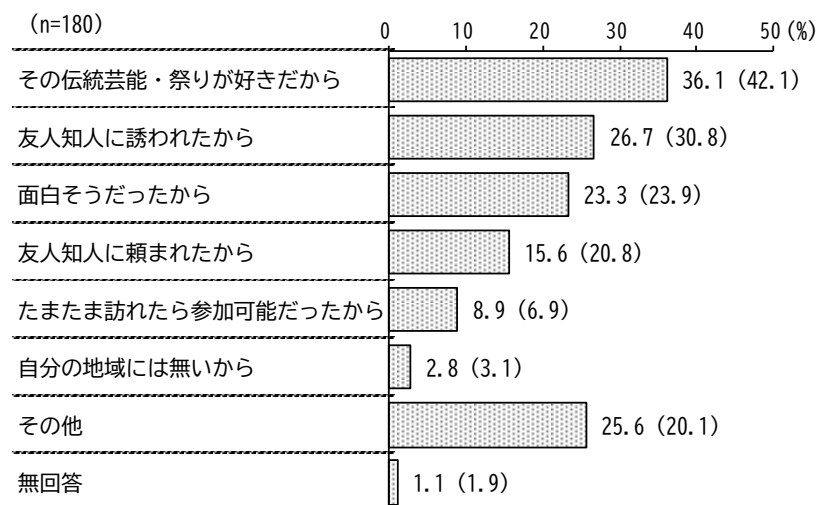


注) ( ) の数字は令和元年度の同様の項目による調査結果 n = 1,052

### ⑤ 居住地域以外での伝統芸能への参加理由

(複数回答：いくつでも)

「お住まいの地域以外で伝統芸能に担い手として参加経験がある」と回答した180人を対象に、参加理由を聞いたところ、「その伝統芸能・祭りが好きだから」(36.1%)が3割台半ばで最も高く、以下「友人知人に誘われたから」(26.7%)、「面白そうだったから」(23.3%)、「友人知人に頼まれたから」(15.6%)が続く。



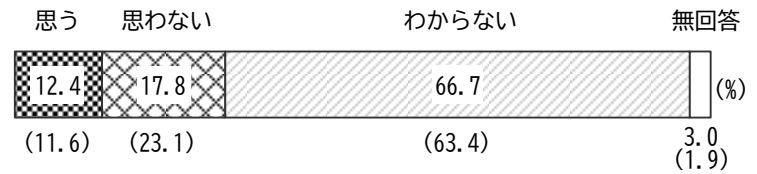
注) ( ) の数字は令和元年度の同様の項目による調査結果 n = 159

## (4) 障害がある方の文化芸術活動について

### ① 障害の有無に関わらず文化芸術活動について鑑賞・参加できる機会

障害の有無に関わらず文化芸術活動について鑑賞・参加できる機会が十分にあると思うかを聞いたところ、「思う」(12.4%)が1割を超えている。一方で、「思わない」(17.8%)が約2割、「わからない」(66.7%)が6割台半ばとなっている。

(n=1,206)



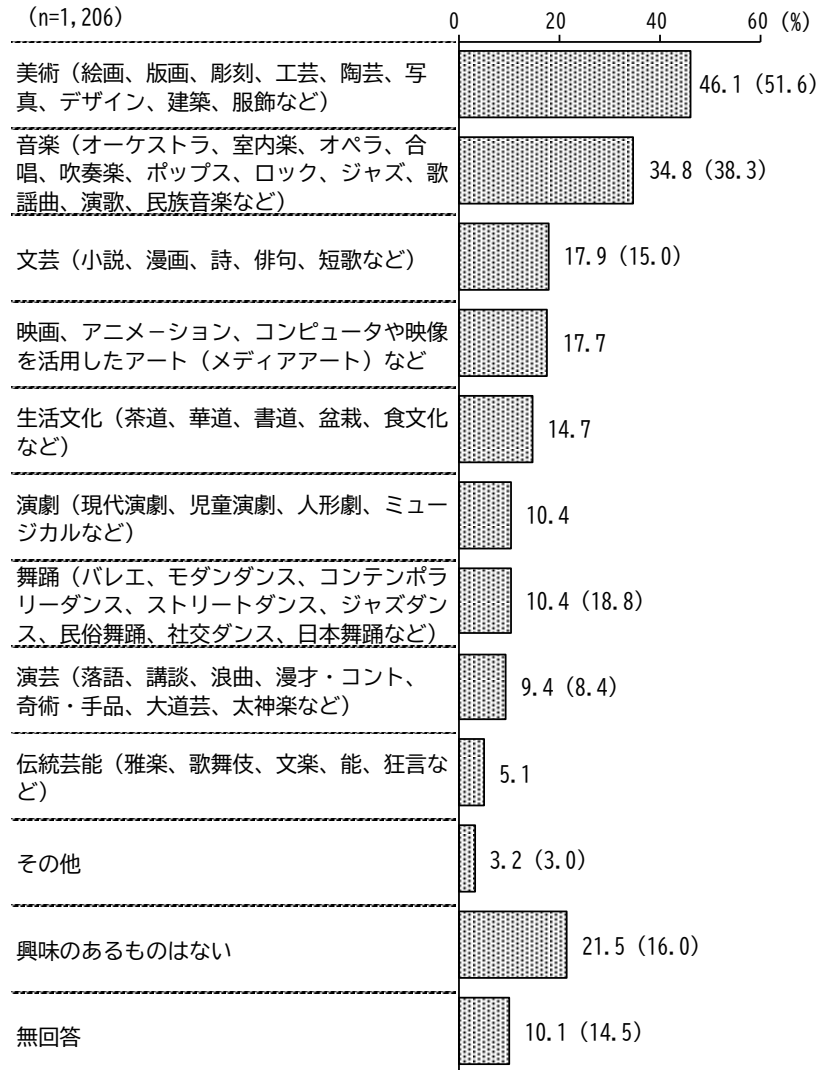
注) ( ) の数字は令和元年度の同様の項目による調査結果 n = 1,052

### ② 障害のある方の文化芸術活動で興味があるもの

(複数回答：いくつでも)

障害のある方の文化芸術活動で興味があるものを聞いたところ、「美術(絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、写真、デザイン、建築、服飾など)」(46.1%)が4割台半ばで最も高く、以下「音楽(オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽、ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽など)」(34.8%)、「文芸(小説、漫画、詩、俳句、短歌など)」(17.9%)、「映画、アニメーション、コンピュータや映像を活用したアート(メディアアート)など」(17.7%)が続く。また、「興味のあるものはない」(21.5%)が2割を超える。

(n=1,206)



注) ( ) の数字は令和元年度の同様の項目による調査結果 n = 1,052

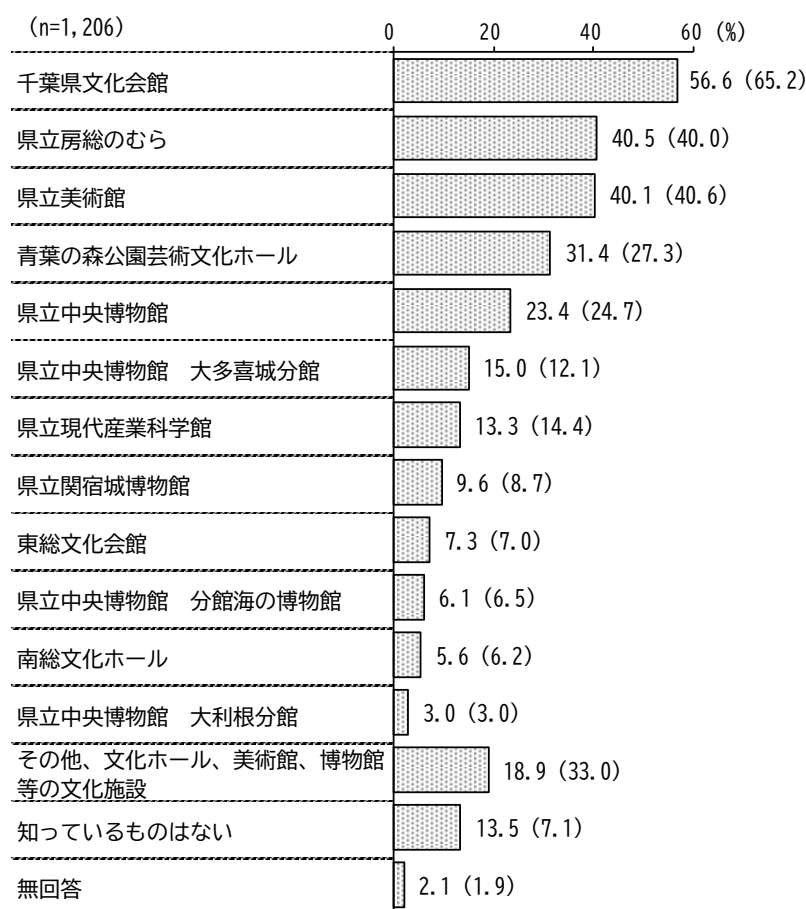
## (5) 文化施設について

### ① 県内文化施設の認知

(複数回答：いくつでも)

千葉県内の文化施設で知っているものを聞いたところ、「千葉県文化会館」(56.6%)が5割台半ばで最も高く、以下「県立房総のむら」(40.5%)、「県立美術館」(40.1%)、「青葉の森公園芸術文化ホール」(31.4%)が続く。

また、「知っているものはない」(13.5%)は1割台半ばとなっている。



注) ( ) の数字は令和元年度の同様の項目による調査結果 n = 1,052

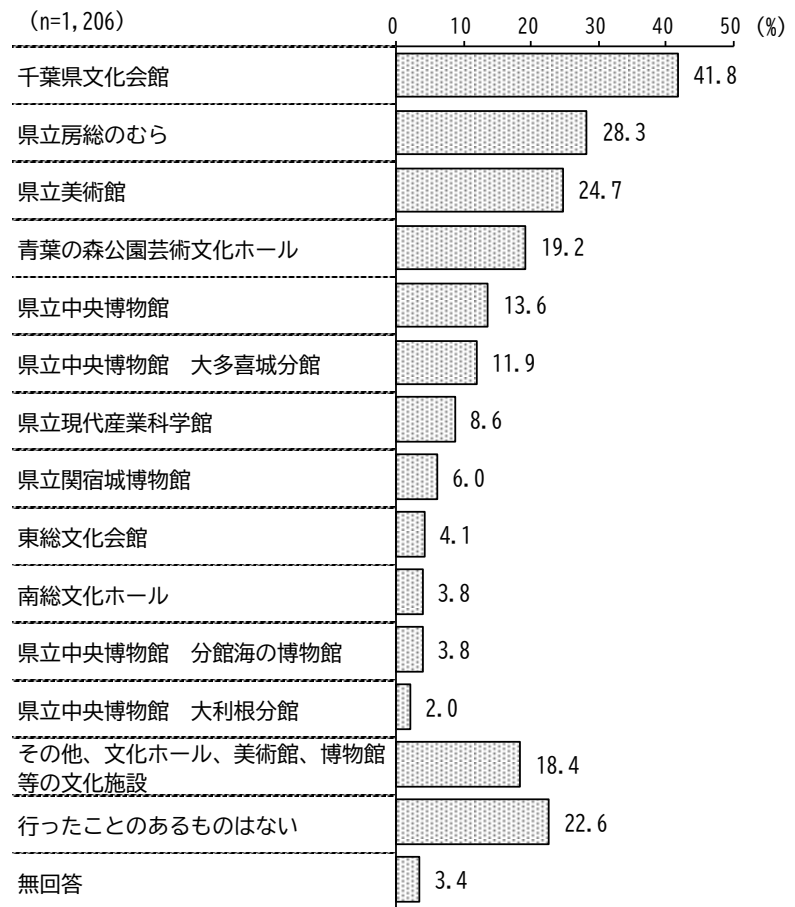


## ② 県内文化施設の利用経験

(複数回答：いくつでも)

千葉県内の文化施設で行ったことがあるものを聞いたところ、「千葉県文化会館」(41.8%)が4割を超えて最も高く、以下「県立房総のむら」(28.3%)、「県立美術館」(24.7%)、「青葉の森公園芸術文化ホール」(19.2%)が続く。

また、「行ったことのあるものはない」(22.6%)は2割を超えている。

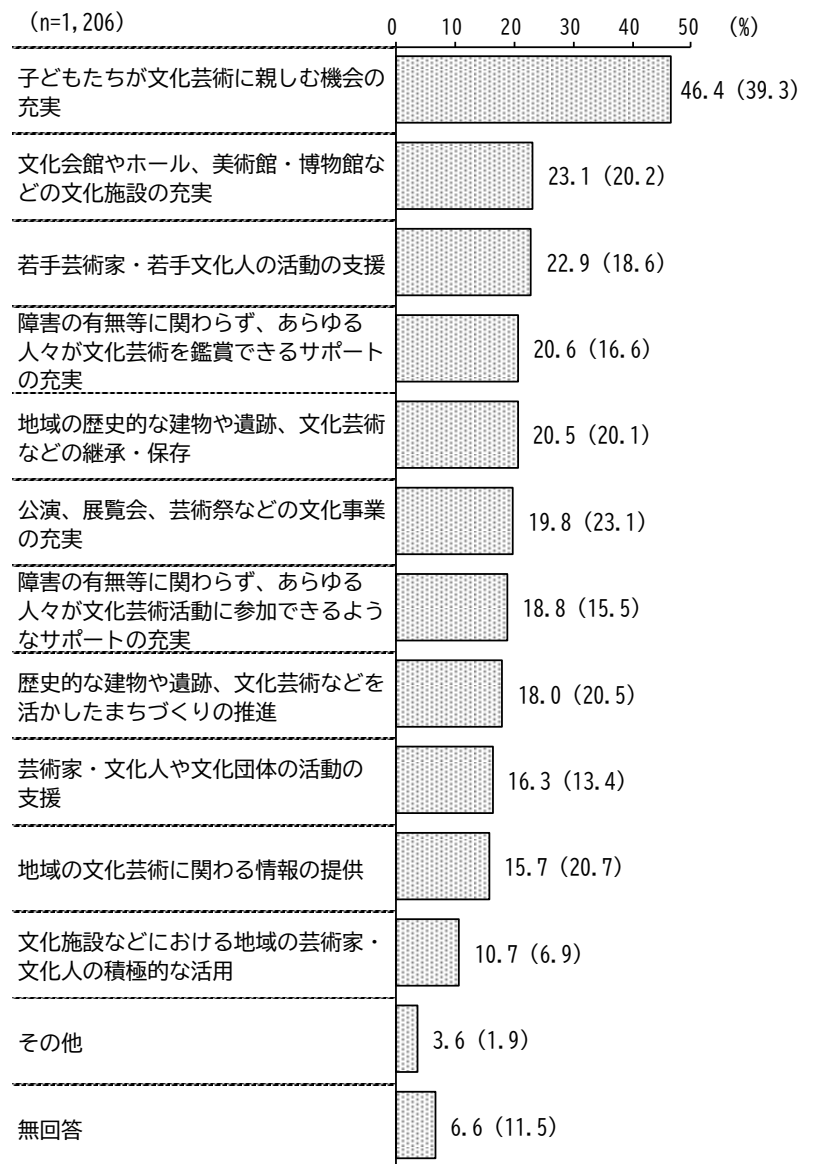


## (6) 県が実施する事業等について

### ① 県が積極的に取り組むべき分野

(複数回答：3つまで)

千葉県が積極的に取り組むべき分野を聞いたところ、「子どもたちが文化芸術に親しむ機会の充実」(46.4%)が4割台半ばで最も高く、以下「文化会館やホール、美術館・博物館などの文化施設の充実」(23.1%)、「若手芸術家・若手文化人の活動の支援」(22.9%)、「障害の有無等に関わらず、あらゆる人々が文化芸術を鑑賞できるサポートの充実」(20.6%)が続く。



注) ( ) の数字は令和元年度の同様の項目による調査結果 n = 1,052